

正誤表

本書におきまして、下記のとおり記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

● p.266

誤

[表 1] ARVC の診断基準

| | 大項目 | 小項目 |
|----------|--|--|
| 機能、構造的変化 | 1. 著明な右室拡大と駆出率の低下（左室機能正常または軽度低下） 2. 局所的右室瘤 3. 区域性右室拡大 | 1. 左室機能低下を伴わない軽度右室拡大または駆出率の低下 2. 軽度区域性右室拡大 3. 局所性右室壁運動低下 |
| 組織学的性状 | 心内膜心筋生検における線維脂肪変性置換 | |
| 再分極異常 | 12歳以上かつ右脚ブロックのないV ₂ 、V ₃ 誘導での陰性T波 | |
| 脱分極、伝導異常 | ε波またはV ₁ ～V ₃ でのQRS>110msec | late potential 陽性 |
| 不整脈 | 左脚ブロック型心室頻拍（心電図、Holter心電図、負荷試験） Holter心電図にてPVCs > 1,000/24h | |
| 家族歴 | 外科手術または剖検によるARVCの家族歴 | 右室異形成が原因と疑われる35歳以下の突然死 本診断基準によるARVCの家族歴 |

大項目×2、または大項目×1＋小項目×2、あるいは小項目×4にてARVCと診断する。
 (文献10)より引用改変)

正

[表 1] ARVC の診断基準

| | 大項目 | 小項目 |
|----------|---|--|
| 機能、構造的変化 | 1. 著明な右室拡大と駆出率の低下（左室機能正常または軽度低下） 2. 局所的右室瘤 3. 区域性右室拡大 | 1. 左室機能低下を伴わない軽度右室拡大または駆出率の低下 2. 軽度区域性右室拡大 3. 局所性右室壁運動低下 |
| 組織学的性状 | 心内膜心筋生検における線維脂肪変性置換 | |
| 再分極異常 | | 12歳以上かつ右脚ブロックのないV ₂ 、V ₃ 誘導での陰性T波 |
| 脱分極、伝導異常 | ε波またはV ₁ ～V ₃ でのQRS>110msec | late potential 陽性 |
| 不整脈 | | 左脚ブロック型心室頻拍（心電図、Holter心電図、負荷試験） Holter心電図にてPVCs > 1,000/24h |
| 家族歴 | 外科手術または剖検によるARVCの家族歴 | 右室異形成が原因と疑われる35歳以下の突然死 本診断基準によるARVCの家族歴 |

大項目×2、または大項目×1＋小項目×2、あるいは小項目×4にてARVCと診断する。
 (文献10)より引用改変)